



平成26年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成25年11月8日

上場会社名 イートアンド株式会社
コード番号 2882 URL <http://www.eat-and.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 文野 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 皆川 秀一

TEL 03-6402-3961

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,840	2.2	464	12.4	476	11.2	285	9.6
25年3月期第2四半期	9,624	4.8	530	16.8	536	14.0	315	5.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	74.81	74.63
25年3月期第2四半期	84.03	75.51

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	9,454	3,364	35.5	880.23
25年3月期	9,920	3,135	31.5	820.44

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,357百万円 25年3月期 3,129百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期		0.00		15.00	15.00
26年3月期		7.50			
26年3月期(予想)				7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	20,552	3.8	968	7.3	945	5.0	504	17.2	132.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	3,814,545 株	25年3月期	3,814,545 株
期末自己株式数	26年3月期2Q	274 株	25年3月期	274 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	3,814,271 株	25年3月期2Q	3,757,763 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3 . 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、比較的安定した為替レートの下、2020年の夏季オリンピック開催地が東京に決定したことなどもあって、金融市場が好調に推移したほか、各企業の設備投資や雇用の動向も回復傾向を維持しております。

一般の消費生活においては、金融市場での好況感を受けて高額品への支出が増えている一方、好況感の賃金への波及遅れや、原材料価格の上昇に伴う各種市販品の値上げ、また来春の消費税増税の可能性が強まりつつあることなどから、低価格のものを求める声も依然として強く、消費動向が二極化の様相を呈しております。

食品業界におきましては、この流れを受けて、流通各社が高単価高付加価値品と低価格品それぞれに訴求ポイントを明確にしたプライベートブランド品を投入する動きが活発化しております。

また、外食業界におきましては、ファミリーレストラン業態やディナーレストラン業態の売上は前年を上回った一方、低価格訴求の度合いが強い洋風ファストフード業態や居酒屋業態は客数の減少幅が大きく、売上が前年を割り込みました。全体では悪天候の日が多かったこともあって客数が前年を割り込みましたが、客単価が上昇し、市場規模はほぼ前年並みとなりました。

このような状況の下、当社におきましては、女性中心の商品開発プロジェクトからの提案の商品化を進めることで、商品開発の動きを活発化させました。また、食料品販売事業における主力商品である冷凍焼餃子に次ぐ柱にすべく、関東工場に水餃子製造ラインを増設し、内製化を推進するとともに、第3四半期以降の営業力および販売力強化を図りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の当社の業績は、売上高が98億40百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益が4億64百万円（同12.4%減）、経常利益が4億76百万円（同11.2%減）、四半期純利益は2億85百万円（同9.6%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

外食事業

外食事業におきましては、大衆中華業態である大阪王将ブランドで既存店の底上げ施策の効果が徐々に表れつつあるほか、出店効果で着実に業績を伸長させております。また、ラーメン業態は、7月下旬の全国ネットのテレビ番組での露出効果を店頭販促強化により維持することができ、好調に推移いたしました。

なお、当第2四半期累計期間におきましては、加盟店24店舗（うち海外8店舗）、直営店3店舗の計27店舗を出店した一方、加盟店9店舗、直営店4店舗の計13店舗を閉店した結果、当第2四半期末店舗数は、加盟店387店舗（うち海外22店舗）、直営店37店舗の計424店舗（うち海外22店舗）となっております。

また、運営形態変更に伴い3店舗を直営店から加盟店、4店舗を加盟店から直営店へと変更しております。

以上の結果、外食事業における当第2四半期累計期間の売上高は、52億78百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。

食料品販売事業

食料品販売事業におきましては、第1四半期に発生しました量販店の冷凍食品二重価格表示問題の影響は残ったものの、提案力の強化による売上規模の拡大を企図し、生協などのプライベートブランド品の製造受託・販売を開始しました。また、内製化を推進した冷凍水餃子の拡販に注力し、第3四半期以降の配荷店舗数ならびに陳列スペースの増加に努めました。

以上の結果、食料品販売事業における当第2四半期累計期間の売上高は、45億61百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は、前事業年度末より4億65百万円(前事業年度比4.7%)減少し、94億54百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より6億98百万円(前事業年度比13.4%)減少し、44億92百万円となりました。主な要因は、現金及び預金、売掛金の減少によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より2億32百万円(前事業年度比4.9%)増加し、49億62百万円となりました。主な要因は、直営店新規出店に伴う有形固定資産の取得および保証金の差入に伴う増加のほか、関連会社2社への増資引き受けに伴う関係会社株式の増加によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末の負債の残高は、前事業年度末より6億93百万円(前事業年度比10.2%)減少し、60億90百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末より5億82百万円(前事業年度比10.8%)減少し、47億93百万円となりました。主な要因は、買掛金、未払金の減少によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より1億11百万円(前事業年度比7.9%)減少し、12億97百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による減少によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は、前事業年度末より2億28百万円(前事業年度比7.3%)増加し、33億64百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上および新株予約権の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は35.5%(前事業年度末31.5%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に対して1億54百万円減少し、6億61百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4億53百万円(前年同四半期は37百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益4億80百万円の計上、売上債権の減少額6億37百万円などが増加の要因であり、仕入債務の減少3億91百万円、未払金の減少2億89百万円などが減少の要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億51百万円(前年同四半期は8億34百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億36百万円、関係会社株式の取得による支出47百万円、差入保証金の支出38百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億57百万円(前年同四半期は4億59百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1億11百万円、配当金の支払い156百万円、短期借入金の減少52百万円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日付「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表しました業績予想に変更はございません。なお、本資料発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、今後様々な要因により異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	817,769	666,223
売掛金	3,636,572	2,998,717
商品及び製品	387,374	414,751
原材料及び貯蔵品	122,990	154,141
前払費用	105,885	114,785
繰延税金資産	74,702	68,980
その他	47,110	75,382
貸倒引当金	1,699	394
流動資産合計	5,190,706	4,492,586
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,904,292	1,944,550
土地	1,089,772	1,089,772
その他(純額)	731,781	834,923
有形固定資産合計	3,725,846	3,869,247
無形固定資産	34,639	32,129
投資その他の資産		
差入保証金	499,459	523,181
繰延税金資産	140,272	114,799
その他	358,872	440,483
貸倒引当金	29,573	17,534
投資その他の資産合計	969,030	1,060,930
固定資産合計	4,729,516	4,962,307
資産合計	9,920,223	9,454,893
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,340,962	1,949,236
短期借入金	605,950	553,000
1年内返済予定の長期借入金	211,258	199,812
未払金	1,189,275	993,076
未払費用	227,088	234,502
未払法人税等	180,400	179,650
賞与引当金	109,124	114,607
役員賞与引当金	20,685	12,675
売上割戻引当金	368,392	404,128
その他	122,507	152,398
流動負債合計	5,375,643	4,793,086

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
固定負債		
長期借入金	286,685	186,779
退職給付引当金	77,730	78,046
役員退職慰労引当金	282,210	292,870
その他	762,357	740,095
固定負債合計	1,408,983	1,297,790
負債合計	6,784,627	6,090,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	456,747	456,747
資本剰余金	389,183	389,183
利益剰余金	2,283,002	2,511,121
自己株式	293	293
株主資本合計	3,128,639	3,356,758
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	726	664
評価・換算差額等合計	726	664
新株予約権	6,230	6,593
純資産合計	3,135,595	3,364,016
負債純資産合計	9,920,223	9,454,893

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,624,848	9,840,133
売上原価	6,217,916	6,426,146
売上総利益	3,406,931	3,413,987
販売費及び一般管理費	2,876,271	2,949,177
営業利益	530,659	464,810
営業外収益		
受取利息	633	648
受取配当金	111	37
受取手数料	4,462	2,854
補助金収入	1,750	735
貸倒引当金戻入額	2,586	12,543
雑収入	913	410
営業外収益合計	10,457	17,228
営業外費用		
支払利息	4,014	5,306
雑損失	726	378
営業外費用合計	4,741	5,685
経常利益	536,375	476,353
特別利益		
新株予約権戻入益	-	6,230
特別利益合計	-	6,230
特別損失		
店舗閉鎖損失	-	2,152
特別損失合計	-	2,152
税引前四半期純利益	536,375	480,431
法人税、住民税及び事業税	188,805	163,869
法人税等調整額	31,791	31,228
法人税等合計	220,597	195,098
四半期純利益	315,778	285,333

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	536,375	480,431
減価償却費	136,543	204,484
店舗閉鎖損失	-	2,152
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,747	315
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,480	10,660
賞与引当金の増減額(は減少)	16,856	5,482
役員賞与引当金の増減額(は減少)	10,004	8,010
売上割戻引当金の増減額	8,204	35,736
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,586	13,343
受取利息及び受取配当金	744	685
支払利息	4,014	5,306
新株予約権戻入益	-	6,230
売上債権の増減額(は増加)	135,252	637,855
破産更生債権等の増減額(は増加)	-	12,039
たな卸資産の増減額(は増加)	25,851	58,527
その他の資産の増減額(は増加)	85,874	54,037
仕入債務の増減額(は減少)	182,304	391,725
未払費用の増減額(は減少)	21,267	7,425
未払金の増減額(は減少)	194	289,414
未払又は未収消費税等の増減額	45,352	57,307
預り保証金の増減額(は減少)	22,172	7,681
その他の負債の増減額(は減少)	16,299	4,405
その他	-	3,301
小計	254,780	621,832
利息及び配当金の受取額	572	685
利息の支払額	3,888	5,235
法人税等の支払額	213,875	176,906
法人税等の還付額	-	13,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,589	453,576

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3,000	3,000
定期預金の払戻による収入	35,307	-
有形固定資産の取得による支出	664,642	236,490
無形固定資産の取得による支出	8,165	3,636
関係会社貸付けによる支出	-	23,800
関係会社出資金の払込による支出	36,500	-
関係会社株式の取得による支出	97,576	47,153
出資金の回収による収入	1,010	-
貸付けによる支出	-	9,166
貸付金の回収による収入	3,737	2,672
差入保証金の差入による支出	73,587	38,079
差入保証金の回収による収入	8,620	7,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	834,796	351,012
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(は減少)	246,400	52,950
長期借入れによる収入	330,000	-
長期借入金の返済による支出	68,472	111,352
自己株式の取得による支出	47	-
配当金の支払額	55,077	56,899
リース債務の返済による支出	26,283	42,501
ストックオプションの行使による収入	27,150	-
新株予約権の発行による収入	6,306	6,593
財務活動によるキャッシュ・フロー	459,975	257,109
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	337,231	154,546
現金及び現金同等物の期首残高	890,488	815,769
現金及び現金同等物の四半期末残高	553,256	661,223

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,974,207	4,650,640	9,624,848	9,624,848	-	9,624,848
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	4,974,207	4,650,640	9,624,848	9,624,848	-	9,624,848
セグメント利益	391,086	194,073	585,159	585,159	54,500	530,659

(注)1. 当第2四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額 54,500千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,278,529	4,561,603	9,840,133	9,840,133	-	9,840,133
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	5,278,529	4,561,603	9,840,133	9,840,133	-	9,840,133
セグメント利益	385,577	137,765	523,343	523,343	58,533	464,810

(注)1. 当第2四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額 58,533千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。